

令和5年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日時 令和5年10月26日（木）午後1時30分～4時15分

場所 多摩市立中央図書館 活動室2・3

出席 えほんの会、おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、The Witches、多摩おはなしの会、
多摩市文庫連絡協議会、つくしんぼ文庫、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫

欠席 ひなたぼっこ

開会

（事務局）

・職員紹介

・4月に行われた組織改正により学校関連の業務も企画運営担当2の担当になったため、増員した。

（資料の確認）

1 令和5年度第1回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録（案）の確認

（会長）

・特に意見がないため、確定とする。

2 報告事項

（1）第三次多摩市子どもの読書活動推進小・中学校連絡会委員（令和5年10月1日現在）

（事務局）

・教育部教育指導課豊かな学び推進担当委員が人事異動の為変更。

（2）令和6年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣 表彰について

（事務局）

（1団体を東京都教育委員会へ推薦した旨を報告）

（3）令和4年度図書館の出張おはなし会（試行）について

（事務局）

（資料に沿って説明）

(文庫連絡協議会)

- ・資料1-2のアンケート項目「打ち合わせについて」には打ち合わせについて「図書館にも加わってほしい・加わるべき」とあるが、これは打ち合わせに図書館は関わらなかったという意味か。

(事務局)

- ・昨年度は1館のみ打ち合わせに参加できなかったが、それ以外は職員が参加した。
- ・アンケート結果にあるのは、今後への要望としての回答である。

(多摩おはなしの会)

- ・図書館の出張おはなし会という名前だが、実態としておはなし会はボランティアが行っている。図書館が行ったのは「図書館のPR」であり、児童サービスとしての本の紹介などはなかった。その重要な点をなしに図書館の出張おはなし会という名前であるのはおかしい。
- ・今後は施設紹介だけでなく、出張おはなし会の実施は、主体的に図書館の児童サービスの一環として開催し、職員もおはなし会や本の紹介を行い、その上でボランティアを結びつけるようなプログラムを立てるべき。今年度の計画策定ではそれを検討してほしい。
- ・ボランティアの協力自体は否定しないが、実際に参加したボランティアから「中身はボランティアの出張おはなし会」で残念だという意見をもらった。
- ・図書館は、おはなし会はボランティアがやるものだという認識をしているのではないか。その姿勢は改めてほしい。おはなし会は、児童サービスの大事なはたらきとして図書館が主体となってやるべきことである。

(つくしんぼ文庫)

- ・おはなし以外にも、ブックトークなどやり方はボランティア団体と調整してできる。
- ・中央図書館でのおはなし会も、職員が主体のものが存在するべきである。

(もりの文庫)

- ・おはなし会自体についての評価はあるが、「図書館出張おはなし会」については、その趣旨が伝わっていたか、うまく機能していたかは疑問である。図書館と児童館、現場で活動する人をつなぐ機会になったのだろうか。ただボランティアをよんでその場で一回行うのは違うのではないか。次年度の計画の際はその点も考えてほしい。

(事務局)

- ・今後も職員とボランティアが一緒にやることは問題ないのか。

(もりの文庫)

- ・問題ない。図書館、ボランティアそれぞれが担う部分がある。
- ・しかし昨年度はおはなし会を一緒にやるという内容ではなかった。

(文庫連絡協議会)

- ・図書館の役割は場の提供だけでなく、児童サービスとしておはなしの場を提供することである。職員もかかわらなければいけない。

(多摩おはなしの会)

- ・図書館のやることは施設の PR だけではいけない。児童サービスとしておはなし会の中に加わってほしい。例えば図書館の本のおすすめリストを持っていき、その本を読んであげる、ブックトークをするなどのことから始めてほしい。

(コアラ文庫)

- ・図書館自身はアウトリーチサービスをどの程度やっているのか。図書館訪問があるのは知っているが、その他図書館外での図書館主体のおはなし会などはやっているのか。

(事務局)

- ・図書館訪問は学校が図書館に来る形態である。10 月に桜ヶ丘公園でおはなし会を行った。次回は 2 月に予定しており、定期的に行う方針である。今後機会があればこれ以外にも積極的に行いたい。

(コアラ文庫)

- ・昨年度、富澤家や Olive でのおはなし会といったイベント的なものはやっていたが、定期的に行う事が重要である。職員が場数を踏むほど研修となり、実践しないと職員の児童サービスのレベルは上がらない。実践が何よりものをいうため、回数を増やすための努力をしてほしい。ボランティアとともに育つということをしてほしい。
- ・昨年は試行であったので、今後やり方を考えていけばいい。

(事務局)

- ・昨年は事前に役割分担をしたうえでおはなし会と図書館紹介という二段構成をしていた。
- ・確認だが、おはなし会自体に職員もかかわるということか。
- ・児童館からもらえる時間にも限りがある。

(文庫連絡協議会)

- ・プログラムを別にしても、おはなし会の中に図書館とボランティアの両方が関わるべきである。

(もりの文庫)

- ・図書館に傍観者になってほしくない。ボランティアが行くだけになってしまっていた。
- ・アンケートについて、紹介された団体はおはなし会の後、その地域とどのような繋がりを持つようになったのか、せっかくおはなし会をやったのだから今後につなげてほしいという気持ちが

あったため、早く結果が欲しかった。今後に活かしてほしい。

**(4) なつだ！ほんともスペシャルおはなし会、夏のワクワクおはなし会、
わらべうたとおはなし会について**

(事務局)

(資料2－1にそって説明)

(多摩おはなしの会)

- ・おはなし会の時間が各回 30 分で、それは子どもの集中力に適していた。
- ・団体の入れ替え時間を 15 分にして子どもが連続参加することを期待するやり方ではなく、30 分できちんと楽しませることが中心となるべきである。
- ・それぞれの団体の特色を考えて配置してほしい。小さい子向けの後は大きい子向けなど、人数集めのためではなく、中身を意識したプログラムを考えてほしい。

(もりの文庫)

- ・ほんともおはなし会の時期は開館後まもなくで、おはなしのへやを使い慣れていなくてバタバタした。団体もおはなしのへやに慣れていくが、職員が仲介として、各団体で出たアイデアなどを教えてもらいたい。

(事務局)

- ・部屋の使い方の具体例として、パネルシアターきらきらさんは部屋を縦につかっていた。イーゼルを使用して 1 段高く上演していた。
- ・絵本の読み聞かせでも、サテライトカウンターの下にある机や開架にある小さい椅子を舞台にすることもできる。

(つくしんぼ文庫)

- ・それぞれの団体に特徴がある。私がおはなし会をしたときは斜めの向きで行うなど、それぞれの団体が工夫してやった。

(事務局)

- ・何か要望があれば、こちらに相談してほしい。協力できることもある。

(つくしんぼ文庫)

- ・自動演奏楽器（オルゴール）でおはなしのへやの文字がかくれるのはおかしい。
- ・おはなし会の最中に放送が入ると気が散る。

(もりの文庫)

- ・アナウンスなしで突然スクリーンが下ろされることがあり、驚く。

(事務局)

- ・迷惑となるため、現在は部屋の利用がある場合はその部屋のアナウンスを切っている。

(もりの文庫)

- ・チラシについて、開館イベントと融合していて良かった。

(事務局)

(資料2-2、2-3に沿って説明)

3 意見交換

(1) 令和6年度定例おはなし会団体への活動室等の貸出について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(もりの文庫)

- ・おはなしのへやの使用は、空いていれば予約なしでもよいのか。

(えほんの会)

- ・保育園での活動など、図書館で定例おはなし会をしていない団体は今回の使用対象にはあてはまらないのか。一般の団体として有料で活動室を使用しなければならないのか。

(事務局)

- ・おはなしのへやは予約なしの当日利用でも問題ない。カウンターで受付する。
- ・今回の案は図書館定例おはなし会としてなので、えほんの会さんは当てはまらない。
- ・今回の案とは別で、活動室使用の規定として、活動の基準を満たせば、活動室を無償で使えることになっている。規定はホームページで公開されている。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・文庫連絡協議会は定例ではなく年に一回おはなし会を行う。その練習に部屋を使えるのか。

(事務局)

- ・活動室やおはなしのへや以外にもグループ学習室がある。使用について優遇はできないが、空いていれば使用できる。
- ・来年度については今回提案しているもので運用したい。図書館外部でのおはなし会や団体独自のイベントについては現時点では部屋の貸出はできない。

(事務局)

(資料3－3に沿って説明)

- ・中央図書館の活動室は3のみに訂正。

(多摩おはなしの会)

- ・前回の市民ボランティア連絡会で活動室の貸出について市民全体にむけて説明会を開いてほしいという要望を出したが、実現していない。その点はどうなっているのか。

(事務局)

- ・前回の市民ボランティア連絡会后、内部で調整をして今日の資料を作成した。活動室についてはこのような要綱案を作成した。
- ・改めて説明会を全体に向けて開くのではなく、課題が上がった点について今回のように引き続き検討をするということでご理解いただきたい。
- ・作成した資料については全団体に送る。

(おはなしチャチャチャ)

- ・対面での説明会が無理であれば、活動室使用料が無料になる条件やおはなしの部屋、グループ研究室の使い方のしおりなど、一つにまとまっているものがあればいい。今日の説明でやっと部屋の使い方について理解できた状況。

(事務局)

- ・資料の作成は可能。市民ボランティア連絡会に参加していない団体にもわかるようなものを今後考えたい。

(えほんの会)

- ・これまでは会議室を自由に使っていた。今回の変更はかなり大きなものなので、丁寧な説明をしてもらえれば納得できる。

(多摩おはなしの会)

- ・今後新たに活動したいという団体もあり、それらの団体では活動室の使用方法への疑問や不公平感がある。そのようなことも含めて市民に向けてきちんと図書館が説明会を開くべき。そこで市民が活動室をどのように使いたいかという市民の声も聞いてもらいたい。

(コアラ文庫)

- ・多摩市立図書館だから、多摩市のこどもたちに児童サービスを届けるのが基本。しかし、多摩市の図書館を他市の方も利用しているのが当たり前である。えほんの会は市外でも活動しているが、目的は児童のサービスを向上させるということで一致している。そのため活動場所で区切ら

れてしまうのはおかしい。この点はみんなで一度考える時間が必要である。図書館側で公民館的な使用方法の線引きを考えたのだろうが、図書館は公民館の使い方とは違うと考える。今すぐではないが、考えてほしい。

(文庫連絡協議会)

- ・図書館ではなく学校でおはなし会を行っている団体もある。その団体は今回の規定に当てはまらないことになってしまうので、考えなおしてほしい。

(つくしんぼ文庫)

- ・今は50のおはなし会では活動室2・3を借りている。勉強会のメンバーだけでも15人程度いて、活動室3だけでは足りない。

(もりの文庫)

- ・市民向け活動室使用の説明会に対する要望がこの提案になったことについては残念で、それについて話し合わないといけないというのは事前に事務局に伝えた。何が問題なのかについては、今ここで話をして次の議題に進みたい。

(おはなしの会)

- ・新しい図書館ができたことで、図書館と協働で何かしたいという方はいる。その人たちの要望もあるなかでどのような活動室の使い方するのか、そのような市民も含めた説明会が必要である。
- ・今回の事務局からの提案はおはなしの部屋の使い方が変わったので必要だが、これだけでとどまってはいけない。

(つくしんぼ文庫)

- ・市民への活動室の説明会については、おはなし会ではなく図書館全体の問題。企画運営担当2にはとどまらない。

(おはなしチャチャチャ)

- ・前回の市民ボランティア連絡会では説明会について担当と相談するということになったが、それについて答えがない。

(事務局)

- ・お答えはしていないが、今回ボランティア団体についてはこの文書で、おはなしのへやも含めて使用できると通知を出したい。全団体への説明会はしないで、来年度はこれで運用したいという説明のために今回この文書を提案した。ご指摘はあるだろうが、おはなしのへやを使うためにも、この文書内容で認めてほしい。

(会長)

- ・本日提案された文書については、詳しい資料や要綱などをつけて全団体に出すということで良いか。

(文庫連絡協議会)

- ・今回の提案事項については形がみえてきた。しかし、多摩おはなしの会から指摘があったように、他の団体の活動室の利用について、今後どのように意見を集約するのか。

(布の絵本サークル ピエロ)

- ・活動室使用の手続き方法についての資料を、団体だけでなく一般市民に向けてまとめてほしい。

(事務局)

- ・「活動室利用の手引き」という一般的な流れについての市民向け説明書はカウンターに置いてあるので、声をかけてほしい。
- ・おはなしのへやについては図書館の定例おはなし会ボランティア団体のみの利用なので、一般市民に伝える必要はないと考える。

(多摩おはなしの会)

- ・今回の文書で、おはなし会での利用に限っては部屋の利用方法について分かったので良かった。
- ・図書館以外でのおはなし会について、本来ならば図書館がやってほしいアウトリーチを代わりにボランティアが行っている。そのためには練習や勉強会が不可欠。これまでは部屋の利用が無料だったが、7月からは有料になったのは、我々市民にとっては後退である。その理由について腑に落ちない。そのような意見を聞いてもらえる場所を、図書館として設けてほしいと強く思う。他の団体は、なぜ図書館の定例おはなし会団体だけが無料で使用できるのかという疑問がある。その説明も必要。

(コアラ文庫)

- ・これは子ども読書支援担当だけの問題ではないということが見えてきた。前回の議事録と同じになってしまうが、市民と話し合う機会を面倒くさがらずに調整をしてほしい。

(多摩おはなしの会)

- ・ここだけで決められないだろうが、館長を含めた図書館の担当に伝えてほしいし、その検討結果の報告もほしい。

(もりの文庫)

- ・活動室利用について、図書館の定例おはなし会だけに限定しているのは違うのではないのか。図書館が担うべき活動を手助けしている団体の支援として、今回盛り込めれば良いと思っていたが、そう簡単ではないのか。
- ・活動の説明をすれば活動室の無料利用も認められると、事務局は言ったととらえている。

- ・カウンターで周知もするのであれば、市民から疑問点があれば今後フィードバックされるのではないか。
- ・そのような点についても盛り込んで資料を提出するのはどうか。

(コアラ文庫)

- ・もりの文庫の発言は、資料の中に保育園等での活動も含めてほしいという具体的な提案である。
- ・定例おはなし会1回というのは、コアラ文庫のように月一で行っているものを想定していると思う。しかし、出張おはなし会についての練習も、図書館に協力しているものであるので、当然含めてほしい。

(事務局)

- ・図書館出張おはなし会については、まだ日程等今後の予定は決まっていないため、その都度個別に検討する。
- ・読書活動推進事業などは減免対象となるため、活用してほしい。今日の議題はおはなし会についてであるということをご理解いただきたい。活動室の減免については担当ではないが、皆さんの活動については含まれると考える。この規定（多摩市立図書館読書活動等支援事業実施要綱）は同封するので、この趣旨に合致するか否かをみて、合致すると思う場合は問い合わせいただきたい。
- ・説明会については、送付資料を読んでまた問い合わせしてほしい。企画運営担当2のみで市民全体への説明会は開催できない。
- ・結論として、この文書は多少の修正の上団体へ送付する。説明会について要望があるのは理解した。活動室利用規定にも目を通して質問があれば会議等でしてほしい。

(2) (仮称) 第2次多摩市読書活動振興計画の策定について

(事務局)

(資料に沿って説明)

(3) 第15回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について (スペシャルおはなし会、展示、スタンプラリー)

(事務局)

(資料に沿って説明)

(布のえほんサークル ピエロ)

- ・スペシャルおはなし会の申込書について、中央館はおはなしのへやが会場になるのか。

(事務局)

- ・そうである。

(The witches)

- ・The Witches は定例おはなし会を関戸で行っているが、ほんとにフェスタでは中央館でおはなし会を行うのは可能なのか。
- ・申込用紙には2枠記入欄があるが、2回おはなし会を行うことも可能なのか。

(事務局)

- ・調整は必要だが、中央館でおはなし会を行うことは可能である。
- ・おはなし会2回実施も可能。実際に2回行った団体の例もある。

(文庫連絡協議会)

- ・スタンプラリーについて、図書館に行って景品をもらう事が目的になってしまうのではないかと懸念している。次々巡るのではなく、おはなし会に参加した等でスタンプをもらえるほうがいいと思う。図書館を巡ることについての目的がよくわからない。

(事務局)

- ・昨年度もおはなし会への参加や貸出などのミッション形式での開催について意見をいただいたため、今年度はそれについて検討した。しかし、スタンプラリー自体の提案が健康まちづくり推進室からのものであり、目的が「子育て世代の外出促進」である。そのため内容を豊富にしていると、目的がぶれてしまう。今回は「まず図書館に来てもらう」という方向で実施しようとしている。来てくれた子に対して、おはなし会や貸出の声かけは行う。
- ・今回は、おはなし会などと深く絡める方向性のイベントではない。やるとすれば、別で企画するのが良いと考えている。

(文庫連絡協議会)

- ・図書館と健康まちづくり推進室の目的が若干ずれていて、そのままでいいのかという疑問はある。
- ・去年富澤家で開催したときも、門の傍に設置したスタンプだけを目当てにすぐ帰る子を多く見た。今回も、図書館の入口に行くだけで終わってしまうのではないか。

(事務局)

- ・今回はスタンプ、景品ともにカウンターに声かけが必要であり、図書館の中に入る必要がある。また開催期間も長いので急ぐ必要もなく、周囲のものも目に入るのでは。
- ・どのように子どもたちに声かけをしていくかについては課題である。

4 情報交換及び次回の日程について

次回 日時：1月25日（木）13：30～ 場所：多摩市立中央図書館 活動室2・3

（文庫連絡協議会）

（文庫展のご案内、文庫連だより配付）

（多摩おはなしの会）

（50のおはなしご案内）

閉会

（16時15分終了）